

- P T A 行事活動内容
- 高校について知りたい事

P T A 活動は  
一人一人の  
参加から!!



第 30 号

1993. 12. 10

黒 浜 西 中  
P T A 広 報 部

# 参加しましたか：！！

## 6/15 車椅子試乗体験学習

普段、自分の二本の足が与えてくれる恩恵に感謝する事は先ずない。くたびれた我が足にも、中枢神経から、絶えず厳しい命令が伝えられる。その一連の無意識な流れが中断したら、自分の体を移動させるためには、他人の力や道具に頼らなければならぬ。車椅子はその道具の一つである。先日、私も試乗して初めて、利用する方の心理が分かった。すべすべのフロアーが道なら快適だが、僅かでも段差があると、越える為に椅子は後ろへ倒され、前輪は宙に浮く。



そのまま引つ繰り返りするような不安で、私は思わず肘掛けを両手で握った。足が不自由な方の緊張はそれ以上であろう。生徒達も全員、車椅子に乗る側と押す側を体験した。車椅子に乗って一人で遠出できる設備が整っていない日本では、次のボランティア力となる若者達の福祉に対する共感が必要である。その意味で、学校で体験学習を受けられた事は意義深い。

私も、二本の足を大切にし、その感謝を、体の不自由な方へ手を差しのべる勇気につなげたい。

一年Nさん

## 6/25 点字体験学習

私達は一日にどれだけの文字を読むのでしょうか。一年間には...。そして一生のうちにはどれだけ...。文字を読んで新しい知識を得ることは、人間だけに与えられた能力です。点字は目の見えない方が、この能力を活用するために、大変な貢献をしてくれました。しかし、この点字を読みこなせるようになるには、大変な努力と訓練が必要であることを、今回の点字体験学習で身をもって知ることができました。点の数と位置を、指先の感覚によって読み取っていくわけです。この感覚を覚え込むまでには、相当の訓練が必要です。それでも、目の見えない方は努力を惜しみません。もっと知識を得たいという熱意がそうさせるのでしょうか。

文字を読むことによって知識を得るといふ人間に与えられた能力を、目の見えない方も存分に活用することができるよう、私達にも何か努力できる点があるのでは...と考えさせられる体験でした。

三年Fさん

## 6/29 研修旅行 笠間を訪ねて

矢口 芳枝



六月末の梅雨空の下、バスは西中から茨城県は笠間へと向かいました。笠間は城下町であり、笠間稲荷の門前町であり、笠間焼を中心とした工芸の町でもあります。

先ず英国王室のために改良されたジャージー牛の牧場を訪ね、コクがありとてもおいしい牛乳をいただきました。

芸術村の一角にある「春風萬里荘」は、美術館の分館になっています。ここは陶芸家「魯山人」の旧宅を移したものだそうで、古いながらもガッチリした造りに圧倒

される思いでした。  
心配していた天気もどうにかもち、楽しく家路に着きました。

7/9 高校説明会に参加して

—お母さんたちの声—

。どこの高校に行こうか選ぶぎっかけになって良かった。Tさん

。私語が多くて、内容がよく聞きとれなかったのは残念。Kさん

。女子校の説明も聞きたかった。Yさん

。高校卒業後の進路の様子もわかったし、各高校の特色が聞けて良かった。Hさん

。できればもっと小さな部屋で説明が聞けたら質問もしやすかった。他校では、各教室で一校ずつ同時に説明会を開き、生徒と親は自分の希望するところに聞きに行く方法をとっているらしい。そうすれば、聞く側も長時間にならず、高校側ももう少し時間をかけて詳しく説明できるのではないか。Sさん

7/13 福祉施設を見学して

—蓮田園—

蓮田園を見学した折、職員の方からボランティアのことを聞き、後日、友人二人と共におむつたみのお手伝いとして、園を訪れました。そこで老人の世話をしている旧知の友人に偶然出会い、彼女がボランティア団体に入って活動していることを知りました。

見えない老後。でも確実に毎日近づいていく。健康な今、私生活に流されるだけではない、前向きな日々を送りたい。彼女との園での出会いに、私はその思いを一層強くしました。Sさん

見学して出会った言葉は「やすらぎと生きがいを求めて・社会福祉法人・ショートステイ・デイサービス・寮母改めケアワーカー・在宅介護支援センター入浴サービス」他沢山あります。

働いている若いケアワーカーの笑顔やいきいきとした姿は、心強く印象的でこれからの老人福祉のあり方を示唆していました。機会をみつめて、おむつたみやシート交換のボランティアに参加

加したいと思います。Sさん

※お願い!!

蓮田園へぞうきんを届けたいと思いますので、寄付をお願いします。(詳細は、教養部まで)

7/15 給食試食会

メニューは「冷やしきつねうどん」ということでしたが、めんはパスタ風で少し暖かく「冷やし」というわけにはいかなかったようです。でも、おつゆの味はだしがよくきいていて、中に入れるゆでた野菜の具もおいしかったと思



冷やしきつねうどん・牛乳  
あんかけ豆腐・冷凍みかん

ます。

残業の事など、校長先生からお話を伺い、警沢になれた今の子ども達にとって、今日のメニューはどうかなと思ひ、夕方遅くまで部活をしてくる子ども達にこれですりのかしらと考えてしまいました。お母さん方は、牛乳でお腹がいっぱいになった人、少し足りない人、残した人といういろいろでしたが、冷凍みかんもいただいで、なつかしい思いでした。

10/28 高校見学会

例年通り、二年生の保護者を対象に、高校見学会が行なわれ、五十七名の参加者がありました。

バス二台に乘車し、校長先生と一緒に、岩槻の私立埼玉第一高校、大宮指扇にある私立埼玉栄高校、久喜の県立久喜北陽高校(すべて共学校)と三校を回り、高校側の説明を聞いたたり、校内の設備などを見学させていただきましたが、学校の特徴をよく知ることが大切だと感じました。



9 / 10

これが西中  
文化祭

「寄ってらっしゃい、見てらっしゃい。おばさんも入って入って、若がえるよ」こんな呼び声に、おまわず中をのぞくと、ボーリング、パターゴルフ、ダービー等、上級生の階は、大にぎわい。

廊下には、所狭しと紙テープや飾りつけ、ゲームあり、神社あり、バックミュージックが流れ、どの子も本当に楽しそうに参加しているのがわかった。

上級生、呼び込む声も

うまくなり

一年生の教室では、全体テーマ「夢」にそって、各クラス展示品が違い、工夫のあとが見られた。

夏休みの作品展示、美術部の絵画、演劇部の劇「最後の一葉」、ライブステージ等、協力し、作りあげる喜びをみんなが感じた事でしょう。

文化祭 祭りのあとの

ゴミの山

閉会式の後には、各教室一斉に片付けられ、ダンボールの山となっていました。



保護者の感想

Y・N

吹奏学部の演奏を聞き、展示物を見学。創意工夫の作品には唯々びっくり、お風呂の天井掃除ブラシ等、是非貸して頂きたい物が沢山ありました。自由研究のリポートも、データの精密さ等、几帳面な積み重ねには感服しました。次に各教室へ。閑散とした一年生の階と比べ、三年生の階の熱気。こわごわ教室を覗くと、そこは外とは別世界。短期間でのこの準備はクラスのまとまりの賜物でしょう。生徒達の閃き、勤勉さ、パワーなどを感じて帰って参りました。

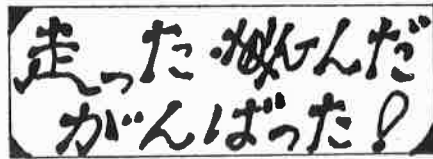
9 / 25

パフォーマンス運動会  
観戦記

薄曇りの早朝、どこかで運動会決行の花火が上がった。

お弁当や水筒を持って、子ども達が登校した後、後片付けをサツとすませ、学校へと急いだ。

イラストの描かれた学級旗がはためき、三年生の中には、薬局や酒屋から拝借してきたと思われる、のぼりなども混ざっている。又、二・三年生の顔にはJリーグでお馴染みの、フェイス・ペインティングが塗られたりして、競技を盛り上げ、見る者を楽しませてくれている。



むかで競争では、足並みが揃わず、転倒するチーム、大きな口を開けてパンに飛びつくパンレースでは、見ているこちららも「あんぐり」と口を開けてしまった。

二人三脚、三人四脚では、ゴールに入りながらのデングリ返り、

Vサインなど、伸び伸びと競技する姿に、観客席からも、大きな拍手と、カメラのシャッター音が響き、盛り上がってきた。

午後からの一番の見もの、三年生の騎馬戦では、赤組応援団長の歌舞伎の隈取りを真似た顔、ダンボールで作った鎧など、迫力満点、攻める者も逃げる者も、馬をつぶすまいと必死に戦っていた。

リレーでは、見る者も手に汗にぎる力走につぐ、力走。すばらしい運動会だった。



「心をひとつに」……

# PTA 十周年

# BAZAAR

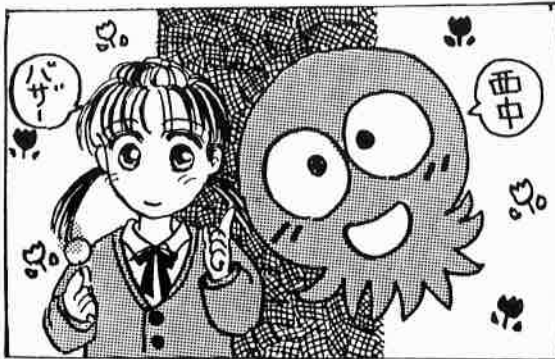


久守奈津子  
 玄関前ではお餅つきの威勢の良い掛け声、金工室では焼そば、木工室ではカレーの匂いと、まるで年末の餅つき大会と夏祭りが同時にやってきたようななか、バザーが始まりました。初めての経験に緊張していたせいか、時のたつのが大変早く感じました。微力ながら役に立った満足感と心地良い疲労感とで帰路につきました。それにつけても校長先生を始めとし沢山の先生、生徒の御協力には頭の下がる思いが致しました。

田中 好子  
 今年は創立十周年を控えており、役員も全体的に力が入っていたように思います。私は、昨年たこ焼きを担当し、焼く程に腕が上がる自分にホレボレしながら、実に楽しい一日を過ごしました。今年は、カレーでしたが、どの部門をとってみても、楽なものはなく、それでも仕事の出来る人が多いのには感心させられます。バザーは地域に根ざしたものであり、PTAの集大成でもあると感じます。



T・I  
 バザーのために準備や販売など担当された役員の皆様、大変ご苦勞様でした。その他各ご家庭からの沢山のご協力があつたおかげで例年より多くの収益をあげることができ、その一部は奥尻島と福祉のために寄付されるとのこと、ほんの少しでも社会にお役に立つことができ、ほんとうに良かったと思います。又、当日は先生方とお母様方が和気あいあいとお手伝いなさっているのがとても印象的でした。



# お母さん方、御存知ですか？

- ① 黒浜西中は、第八学区の北部です。  
(下図参照)
  - ② 受験できる公立高校は、第八学区南、北部。第一学区南部。第七学区です。
  - ③ 受験できる公立高校は、一校のみですが、私立高校への受験は特に制約はありません。
  - ④ 推薦入学制度は、県公立高校の募集人数が年々増える傾向にあり、基準条件を十分に検討して志願して下さい。
  - ⑤ 私立高校にも、若千数の推薦募集があるが、どちらも審査基準は明確にされていません。
  - ⑥ 業者テストの禁止などで、本年は進路決定がむずかしいと思います。
- 学校の情報や新聞報道の内容を自ら知る事が大切です。

通学区	市 町 村	共通通学区	高 校 名
第1通学区域① 南 部	川口・浦和・大宮・与野・蕨戸田・鳩ヶ谷	②東 ⑧	浦和・浦和一女・浦和西・浦和北・浦和東・川口川口北・川口東・川口青陵・与野・蕨・戸田・南稜鳩ヶ谷・大宮・大宮光陵・大宮武蔵野・大宮東大宮南・浦和市長・浦和市立南・市立川口女子市立川口・市立川口県陽・市立大宮北・市立大宮西
第7通学区域⑦	行田・加須・羽生・騎西・川里南河原・大利根・北川辺	①北 ⑥ ⑧北	行田女子・行田・不動岡・不動岡誠和・羽生第一騎西・北川辺
第8通学区域⑧ 南 部	草加・越谷・八潮・三郷吉川・松伏	①南	草加・草加南・草加東・草加西・越谷・越谷北越谷南・越谷西・越谷東・八潮・八潮南・三郷三郷北・吉川・松伏
北 部	岩槻・春日部・久喜・蓮田庄和・白岡・宮代・杉戸・菖蒲幸手・鷺宮・栗橋	①南 ⑦	春日部・春日部女子・春日部東・岩槻・岩槻北陵久喜・久喜北陽・蓮田・白岡・菖蒲・宮代・栗橋幸手・鷺宮・杉戸・庄和

県公立高等学校学区間関係図



※詳しくお知りになりたい方は、高校受験案内を参照して下さい。

埼玉県公立高校全日制普通科学区間関係図

## 平成4年度卒業生の進路先

## 県内・近県私立高校

高校名	人数
浦和学院	6(共)
細田学園女子	1(共)
群馬関東学園	1
東和大昌平	5(共)
葛生高校	7(共)
小松原	1(男)
埼玉栄東	3(男)
佐野日大付	7(共)
秀明栄光	4(共)
春日部共栄	8(共)
国学院栃木	2(共)
浦和実業	3(共)
村山国際女子	1(女)
大宮開成	2(女)
花咲徳栄	14(共)
武南高校	4(共)
川越東	2(共)
埼玉第一	5(共)
山村女子	1(女)
大妻嵐山	1(女)
獨協埼玉	2(共)
城西大川越	1(男)
城北埼玉	1(男)
静岡国際海洋	1
埼玉栄	5(共)

## 都内私立高校

高校名	人数
上野学園	1(女)
海城高校	1(男)
日大豊山	2(男)
岩倉高校	1(男)
明治学院	1(共)
昭和鉄道	1(男)
淑徳高校	2(共)
早大高等学院	1(男)
明大中野	1(共)
大妻中野	2(女)
十文字	3(女)
桜丘女子	2(女)
国学院	1(共)
東京成徳	5(女)
武蔵野	4(女)
東京家政大付	5(女)
日大豊山女子	1(女)
潤徳高校	1(女)
文京学園	1(女)
富士見	1(女)
成徳学園	1(女)
豊島岡女子	2(女)
専門学校	6

## 県公立高校

高校名	人数
大宮高校	7(共)
蓮田高校	14(共)
大宮東	3(共)
大宮南	2(共)
大宮北	2(共)
大宮光陵	2(共)
大宮武蔵野	2(共)
浦和東	5(共)
浦和南	4(共)
浦和北	2(共)
浦和西	2(共)
浦和高校	6(男)
浦和一女	5(女)
久喜北陽	5(共)
久喜高校	6(女)
与野高校	2(共)
不動岡	4(共)
伊奈学園	15(共)
岩槻高校	1(共)
春日部女子	1(女)
春日部工業	1(共)
浦和商業	1(共)
川口高校	2(男)

(男)：男子校  
(女)：女子校  
(共)：共学校

\*埼玉栄東は、H6より共学。資料は、H5年3月5日現在のデータ。

## 卒業生の声

県立K高校 二年女子

我々は、伝統ある女子高です。

中三の時、学校見学を五校程し、その中から清潔で、生徒が生き生きしていたので選びました。

親は反対したけれど、進路状況や、学校の印象を説明して説得し、入学したのです。

文系、理系に分かれ、学科も選択制なので、自分の目標に向かって勉強できる様になっています。

女子高というと、偏見の目で見られがちですが、まじめな生徒の方が多く、学校生活をエンジョイしています。

県立F高校 一年男子

「やろうと思えばどんな事でもやれる学校です」と入学した時おっしゃった先生の言葉です。自由な校風で、中学校と違って先生方も細かい事は言われません。生徒達も盛り上がる時と引き締める時との切り換えがしっかりと出来、文化祭や体育祭などで豹変し、ハイになってバカをやったりします。驚いたのは、親子四代にわたって学校に入学している人達が多いと言う事。百余年の歴史のある学校ならではの事ですね。

シリーズ

思うこと

石嶋 美好

「わぁ、空が青い！」  
思わず、声をあげてしまふほどの夏空がそこにあった。

そんな時、本当に来てよかったと思う。夏らしくない日本から脱けだし、トルコとの出会いの旅が始まった。飛行機に乗ること十二時間程で、イスタンブールに着いた。(なんとその便が初めての直行便。記念のテレカににんまり)

かつて「飛んでイスタンブール」という歌がはやったことがあるし、歴史でよく登場する都市なので、一度は来たかったのだ。そして、この街はボスポラス海峡をはさみ、ヨーロッパ側とアジア側に分かれていて「大陸と大陸のつなぎ目」にあたる。歴史の舞台となり、多くの英雄・皇帝が通り過ぎた街に、今自分があるのだと思うだけで、やったあという気持ちになる。そのうれしさ、感動が私の財産になっ

ていく。

また、人との触れ合いもうれしい。人間なんてみな同じなんだ、笑顔と片言のトルコ語で何とかなると実感することが多々あった。キャラバンサライ(隊商宿)を見た時、近所の子らしい数人の女の子が話しかけてきた。「日本人?」「そうよ」ただそれだけの会話をして、ニコッと笑って手を振った。そのかわい笑顔。おみやげ屋のお姉さんと、英語まじりで(お互いに大して話せないが)ジェスチャーゲームの様に話したことも楽しかった。出会った人がみな親切なことが何よりの思い出になった。

悠久の歴史を持つトルコは、懐の深い、人間味のある国だと思う。青い空と地平線、人なつこい笑顔、おもしろいりんご茶、生活の豊かさって何だろうと、日本と比べてしまう。せこせこしても仕方ないねと教わったよいうな気がする、今回の旅だった。テシェケル・エデリム(ありがとう)

「内づらと外づら」の心理

鬼澤 敬子

「家族に当たり散らしたことはないか。」と聞かれると、非常に困る。身に覚えが大いにあるからだ。たまたま、身近な存在に自分の不愉快さをぶつけてしまう。これが、「たまたま」であるならば、さほど問題ではないが、「いつも」となると大問題だ。一度(ひとたび)、家の敷居をまたぐや、責めなじる。なじられる家族はたまったものではない。ところが、外づらは、文句なくすばらしい、立派な人なのである。そんな人間の心の中を、心理学的に解き明かしたのが、この本である。

著者の加藤諦三氏は、大学教授であり、テレフォン人生相談も扱っていた経験から、様々な例を引いて論を展開する。中には苦笑させられる、大学生の話もある。しかし、だんだん笑っていられなくなる。こんな記述に、ドキッとさせられるのだ。

「親は親の立場で、子どもは子どもの立場で、親子の関係を結べないのが、嫉妬深い親子関係である」

精神的に未成熟な人間を、半健康な人間と氏は呼ぶ。半健康な親は子どもは自分と同じに感じるべきだと信じている。子どもがいいなあと思うところと大人がいいなあと思うところは違うのにな。こうして、子どもはゆがめられてしまう、という。

自分の親は、どういう人だったのか。どんなふう育ててくれたのか。そして、自分はどんな人間なのか。今、どういう親なのか。重いテーマではあるが、たまにはじっくり考えてみるのも心地よい。そんな気持ちにさせてくれる本である。(三笠書房)

◆編集後記◆

行事の多い二学期、各部の活気ある活動を、取材させて頂き、御協力ありがとうございました。お蔭様で、第30号も無事発行することができました。

今後とも、皆様の御協力をお願い致します。

訂正とお詫び

第29号の「諸引商會」の二年生の欄に誤りがありました。訂正して、お詫び致します。

(誤) 大塚先生(正) 大澤先生